

コード No. 28149

**Anti-
Human Gipie Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : 新規の Girdin ファミリー分子である Gipie は、内皮細胞に発現し、ER ストレスによって誘導される分子で、分子量 78 kDa のグルコース制御タンパク質 GRP78 と相互作用します。このことにより、IRE1-JNK シグナル伝達経路を制御し、アテローム性動脈硬化や血管内皮障害のような状況下での ER ストレスが誘導するアポトーシスに対して内皮細胞を保護する機能を有することが報告されています (参考文献 1)。
- 免疫抗原 : Gipie の部分合成ペプチド (VQEPEKRPLTPSLSQ)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5~10µg/mL にて使用可能
: 免疫細胞染色 5µg/mL にて使用可能
: ウェスタンブロッティング 1~5µg/mL にて使用可能
: 免沈降疫 5~10µg/mL にて使用可能
- 特異性 : ヒトの Gipie に反応
- 参考文献 : 1. Matsushita E, Asai N, Enomoto A, Kawamoto Y, Kato T, Mii S, Maeda K, Shibata R, Hattori S, Hagikura M, Takahashi K, Sokabe M, Murakumo Y, Murohara T, Takahashi M. Protective role of Gipie, a Girdin family protein, in endoplasmic reticulum stress responses in endothelial cells. *Mol Biol Cell.* 2011 Mar 15;22(6):736-47.